

第4次寄居町地域福祉活動計画

令和3年度～令和7年度

【ダイジェスト版】



ふれあいネットワーク
社会福祉法人寄居町社会福祉協議会

第4次地域福祉活動計画【ダイジェスト版】

※このダイジェスト版は、寄居町の「地域福祉計画」と一体的に策定した計画書の中から、地域福祉活動計画の一部を抜粋したものです。

1. 私たちが目指すこと(基本理念)

国が示す地域共生社会の理念や、改正社会福祉法に規定された地域福祉推進の理念とも合致することから、本計画の基本理念は前計画の基本理念を継承することとしました。町に暮らすすべての人が地域福祉の担い手として、助け合いながら魅力ある人づくりを進め、安心・快適に共に生きる幸せに満ちたまちづくりを進めるために、基本理念である「みんなで支える、共に生きるまちづくり」を目指すものとします。

2. 活動計画で取り組むこと(基本目標と取り組みの方向性)

基本目標は、基本理念や地域福祉活動計画を具体化する事業・活動の目標を示すもので、寄居町における地域福祉活動の実態や課題に基づいて、4つの推進項目を設定しました。その基本目標を達成するための取り組みの方向性として12項目を定め、さらに33項目の具体的取り組み施策に整理しました。

基本目標1 寄居町における地域共生社会の実現に向けた共に助け合える活動基盤づくり

これまでの地域づくりの取り組みの成果を活かしながら、本町における地域共生社会の実現に向けて、地域福祉の発展・拡充を進めます。「自助」・「互助」・「共助」・「公助」の役割を明確にし、誰もが気軽に支え合い、お互いに助け合える活動基盤づくりを目指します。



◇取り組みの方向性と主な取り組み

(1)日常生活支援体制の構築

①地域支えあいの会・ボランティア団体等の活動促進

- 地域支えあいの会の組織強化のため、地区運営の役割分担化を図り、みんなで地域を支える観点から、区長の地域支えあいの会会長兼務から専任の会長による運営化を推進します。
- 地域支えあいの会の活動を支援するため、活動助成金の交付を継続するとともに、7地域における年2回の連絡会を開催し、的確な情報提供により地域力育成を支援します。
- ボランティア団体の活動支援・連携支援については、多様なボランティア団体が、専門性や特性を活かして円滑に活動できるよう、代表者会議を定期的で開催し、情報提供と連携の維持強化を図ります。

②町ぐるみのネットワークづくり

- 寄居町共助のまちづくりネットワーク会議の活性化を図るため、住民、事業所、専門機関等の参画団体が課題と今後の方向性を共有し、共助のまちづくりに向けて積極的に参画できるよう会議を運営し、本会議の専門機関の集団である実務者会議を定期的で開催し連携強化を図ります。

③地域包括ケアシステムの深化・地域共生社会の構築

- 生活支援活動推進事業は、7地域に組織された「生活支援・介護予防体制整備推進協議会」の住民主体による生活支援活動の展開を支援し、地域の課題解決力を育成します。

④重層的支援体制の整備推進

- 重層的支援体制整備協働事業として、総合相談支援センターにおいて、地域活動と専門機関のコーディネート機能を活かし、世帯全体を包括的に支えるための包括的支援体制の構築を推進します。また、総合相談支援センターの包括機能を活かし、町の重層的支援体制の整備に協働して取り組みます。

(2)協働による福祉活動支援

①行政・社会福祉協議会・関係団体等の連携強化

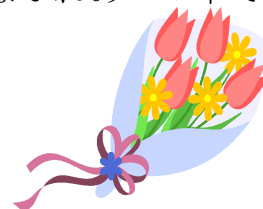
- 社会福祉法人施設等連絡会議運営事業として、町内の社会福祉法人の連絡会議を定期的で開催し、包括的支援体制における相談サテライト機能や課題解決における協働、さらに連携による社会福祉法人の社会貢献事業の促進を図ります。

②民生委員・児童委員、福祉委員活動への支援拡充

- 福祉委員への支援の拡充として、福祉委員全員を対象とする推進会議や研修会を行うとともに、代表福祉委員会議を開催し活動を支援します。また、毎年安定的に福祉委員の選任が行えるよう活動の周知を図ります。
- ニーズ発見リレーシステムの維持・強化については、福祉委員活動で把握した支援ニーズや困りごとを民生委員・児童委員につなぐとともに、地区で解決できない課題を民生委員・児童委員から社会福祉協議会や行政につなぐリレーシステムを維持し、関係者間の連携強化を図ります。

基本目標2 地域とともに暮らすつながりづくり

老若男女、障がいの有無に関わらず、町民誰もが集まれ、交流・活動できる地域コミュニティづくりをさらに推進します。ともに作りあげる地域福祉では、地元の地域コミュニティを基本とし、本町らしい温かなふれあいの中で地域とともに暮らすつながりづくりを目指します。



◇取り組みの方向性と主な取り組み

(1)多世代交流・拠点づくりの促進

①地域の拠点づくりの促進

- 新たにに取り組む地域活動プラットフォーム整備事業は、地域住民誰もが気軽に立ち寄れる住民主体の常設サロンの運営を支援するとともに、この常設サロンを高齢分野に限定せず、高齢・障がい・児童をめぐる福祉活動のプラットフォーム化を進めます。また、常設サロンの設置が実現していない城南中学校区での開設に向け積極的な働きかけや支援を行い、全中学校区への常設サロン設置を目指します。

②共生型のまちづくりの推進

- ふれあいいきいきサロンの充実については、地域支えあいの会が開催する地域のふれあいいきいきサロン活動の支援を継続し、感染症対策等考慮しながら、月1回開催のお茶のみサロン活動の充実を図ります。地域サロンは年々実績が増えていることから、各地域のサロン活動の情報交換等を促進し、各サロン活動の活性化を図ります。
- ふれあい広場の充実に関しては、福祉関係者のみならず、商業関係者等の参画を促し、福祉と産業のコラボレーションを図ります。2年に一度の開催となることから、新鮮な企画づくりを行います。

(2)いきがい健康づくりの推進

①健康長寿社会の実現に向けた健康づくりの促進

- 百歳体操普及促進の協働は、生活支援・介護予防体制整備推進協議会での

実施に向けたコーディネート等を通じて、町とともに普及促進を図ります。

②高齢者の社会活動支援

- 老人クラブへの支援として、クラブ活動の促進に向け連合会事務局として運営支援を行います。また、老人クラブへの加入促進に向けて、回覧等を通じて会員募集を実施します。

(3)地域における見守り・支援体制の強化

①地域における見守り体制の強化

- 地域支えあい見守り登録事業は、見守り登録者の拡大に向けて、民生委員・児童委員協議会との協働によりキャンペーンを展開します。
- 救急医療情報キット配布事業についても、見守り登録キャンペーンに併せて利用者拡大を図るなど事業を継続してまいります。
- ふれあい配食事業の充実については、継続して実施するとともに、糖尿病等の配慮が必要な配食の実施に向けて、メニュー化や実施体制等について検討を行います。

②安心・安全な防犯体制の整備

- 要支援者に対して「ほっとライン通信」等を通じて防犯意識を啓発するとともに、地域支えあいの会のつながりや見守り活動によって不審者が入りにくい地域づくりに寄与します。

③災害時の支援・備えの充実

- 災害ボランティアセンター運営強化事業は、災害発生時、災害対策本部の要請に即時対応して、災害ボランティアセンターの開設・運営ができるよう、町との役割分担を事前に協議し、協定を結ぶものとします。

(4)支援の継続的支援体制の整備

①安心・安全な支援・サービスの継続的な提供

- 地域活動感染症対策については、地域支えあいの会等の地域活動が安全に推進できるよう、必要に応じて感染予防の活動マニュアルや予防用品を備え、地域のつながりの維持に努めます。

②事業者・団体におけるBCP(事業継続計画)等策定の促進

- 本会としても有事の際の業務推進計画を策定します。

基本目標3 地域で活躍できる人づくり

地域福祉を身近なものと考え、自らの問題として認識し、主体的に関わることでできる人材の育成・確保をさらに進めます。町民すべてがお互いに学び、地域社会へ参加・参画できるよう、地域で活躍できる人づくりを目指します。

◇取り組みの方向性と主な取り組み

(1)地域を支える担い手の育成

①地域福祉を担う人材の育成

- 地域を担う元気な高齢者を発掘するため、体験型の講座としてアクティブシニア社会参加支援事業を実施します。
- 公的制度の隙間を埋める家事援助・外出付添サービスを提供するふれあいサービス協力員の養成を推進します。
- 町内の災害発生時の復旧に携わる災害救援ボランティアの個人登録を推進し有事に備えます。

②NPO・ボランティア団体への支援

- ボランティアセンターの充実については、ボランティアの高齢化への対策として、後継者の育成・発掘等を支援します。また個人で活動する技術ボランティア等について募集・登録を推進します。



○手話奉仕員候補者の育成については、手話奉仕員に必要な資格取得を支援し、手話奉仕員候補者の育成を図ります。

③次世代を支える介護、保育サービスの人材確保

○サロンの運営等地域福祉活動の展開においては、福祉と産業との連携施策の展開を視野に入れる福祉と産業のコラボレーションを探求しつつ企画立案を図ります。

(2)福祉教育の充実

①インクルーシブ教育の充実

○福祉教育は、助成金を小中学校に交付する福祉協力校事業を継続するとともに、学校と福祉施設の交流事業をコーディネートします。

②社会福祉法人、大学との福祉教育の連携推進

○ボランティア体験プログラム事業は、社会福祉法人施設や技能ボランティア団体等での児童生徒等のボランティア体験を推進します。また、夏休みに体験プログラム事業を実施するなど、多くの子どもが参加しやすいプログラムを推進します。

○児童館の保育付き講座において、福祉を専攻する大学生ボランティアと協力して一時保育を実施していますが、今後も大学生ボランティアを確保して福祉教育を推進します。

基本目標 4 安心して住みやすい環境づくり

町民が安心・安全に暮らすため、困っている人が必要な支援・サービスにつながる環境整備の充実に努めます。また、住宅・交通・環境・まちづくり等の生活関連分野との連携を強化し、安心して住みやすい環境づくりを目指します。

◇取り組みの方向性と主な取り組み

(1)相談体制の強化

①断らない相談支援体制の整備

○総合相談支援センター強化学業に取り組み、高齢者、障がい者、権利擁護、生活困窮の4分野を集約した総合相談支援センターにおいて、あらゆる相談を受け止めます。制度の隙間にある複雑なケースに対しても各分野の専門機関等と連携し、包括的に問題解決にあたることで、断らない相談支援、寄り添い型相談支援を展開します。また、支援にあたっては、単なるサービスマネジメントに留まることなく、人とのつながりを創る支援を視野に入れて活動します。

②気軽に手助けを利用できる環境づくりの促進

○民生委員・児童委員、福祉委員が見守りツールとして利用する「ほっとライン通信」において、福祉情報を提供するとともに「助けられ上手」の啓発を引き続き推進します。

○生活困窮者支援として、社会福祉協議会の福祉資金の貸付、社会福祉法人が行うあんしんセーフティネット、生活困窮者自立支援法に基づく相談支援機関との連携を強化するとともに、単なる資金貸付、物品提供にとどまらず、子どもの貧困問題も含めて、生活困窮からの脱却を総合的に支援します。

○フードドライブとして町民から物資提供を呼びかける広報を行い、支援物資の安定確保に努め、必要時にフードバンクが利用できる環境づくりに努めます。

○在宅介護支援事業である「介護用紙おむつ支給事業」「理美容サービス事業」「移送サービス事業」は、高齢者の増加を反映して利用が年々伸びて



いるため、利用ニーズに対して安定的かつ継続的な支援を提供できるよう努めます。

- 町民に、より多くの福祉情報収集の機会を提供するため、「社協だより」「社協パンフレット」等の情報紙を定期的に発行するとともに、ホームページをリニューアルし、充実した情報提供ができるよう体制を整えます。

③苦情解決制度の周知

- 社会福祉協議会の苦情解決制度を窓口时常時掲げるとともに、機関紙等による広報に努めます。

(2)権利擁護活動の推進

①権利擁護体制の充実

- 成年後見支援センターにおいて、成年後見制度の普及・利用啓発を推進するとともに、身寄りがない方や家族からの支援が望めない方への社会福祉協議会の法人後見を実施します。
- 日常生活において判断力に不安のある方が安心して生活を送れるように定期的に訪問し、福祉サービスを利用するための援助や暮らしに必要な金銭の出し入れのお手伝いをします。また、判断能力が著しく低下した場合には、成年後見制度の利用につながるよう支援します。

②虐待・DV防止への取り組みの強化

- 地域支えあい活動において、民生委員・児童委員、福祉委員の見守り活動のみならず、地域支えあいの会会員による地域全体の見守り活動を推進し、虐待の早期発見に取り組むものとします。

③障がい者に対する差別解消への取り組み

- 町委託による寄居町障害者基幹相談支援センターの事業推進の中で常に差別解消の視点を持ち、地域での配慮が定着していくよう啓発に努めます。

(3)生活環境の充実

①バリアフリー化の推進・ユニバーサルデザインの普及

- 社会福祉協議会の諸事業を通じて、心のバリアフリーを啓発し、地域共生社会の実現に寄与します。

◇寄居町成年後見制度利用促進基本計画と社会福祉協議会◇

寄居町が策定した本計画において、本会が成年後見支援センターの運営を町から受託することから、社会福祉協議会の取り組みも記載しています。

- ①早期発見・利用促進については、総合相談支援センターの連携により成年後見制度の利用促進につなげます。
- ②地域連携ネットワークの体制整備では、共助のまちづくりネットワーク会議を最大限活用するとともに、その実務者会議での協働体制を整備します。
- ③中核機関の整備・運営については、現在の成年後見支援センターを中核機関に位置付けるものとし、家庭裁判所との連携も図ります。

令和3年3月作成

社会福祉法人寄居町社会福祉協議会

住所 埼玉県大里郡寄居町大字保田原301番地

電話 048-581-8523 F A X 048-581-8544

